

- 参加費 2000円(学生1000円) ※参加費は当日お支払いください
- 持ち物 教材研修会に参加される方は、体育館シューズ・運動できる服装・飲み物・タオルなどをご持参ください。(更衣室はあります。) ※見学のみ参加も可能です。

- 申し込みについて
参加ご希望の方は、Web上 (<http://kantaiken.jp>)でお申し込みください。
※参加証を所属校に発送いたします。申し込みの際、所属校の住所を入力してください。
また、当日、参加証は必ず持参ください。また、本年度より、FAXでの申し込みは受け付けていませんので、ご注意ください。

☆毎年たくさんの先生方に、ご参加いただいています。しかし、安全確保のため、各部、参加者が定員に達した場合は、会場の都合上、途中で締め切らせていただくことがあります。ご了承ください。



■問い合わせ先
事務局
担当 西岡 毅
E-Mail kpes@kantaiken.sakura.ne.jp

平成27年 11月28日(土)



第7回 関西体育授業研究会

主催
関西体育授業研究会

後援
大阪府教育委員会
大阪府教育委員会
(申請予定)
顧問
三木 四郎(神戸親和女子大学)
青木 和男(箕面自由学園)
米村 耕平(香川大学)
榎木 泰介(大阪教育大学)
相談役
佐々木 靖(大阪教育大学
附属池田小学校 校長)



授業力向上

～願いをつなぐ教材づくり～

本研究の一番の『ウリ』は、「子どもがいる生きた授業～学びを深められること」です。昨年の研究会では、子どもの姿、教師の姿をもとに300名を超える参会者が集い、明日の体育について語り合いました。

今年の第7回研究会では、「授業力向上～願いをつなぐ～」のテーマのもと、体育における教師と子どもの「願い」をいかに授業の中でつないでいくのか考えていきます。

子どもたちの関心・意欲のみに頼った体育授業。教師が提示した運動にただ闇雲に取り組むだけの授業。どちらかの比重が大きすぎると、子どもの願いと教師の願いがどんどんかい離れた授業になってしまいます。

一人ひとりの子どもが目輝かせて授業に向かい、確かな学習成果を残すために、どんな教材が有効であるのか、我々は何をしなくてはならないのか、何ができるのか…

11月28日、2つの授業提案、6つの実践発表をもとに、これからの体育について語り合しましょう!

場所 大阪教育大学附属池田小学校



教材研修会

実際に授業でおこなわれた動きをやってみて、教材について考えます。



授業協議会

授業者、講師、参会者。みんなで作る協議会です。



「跳ねる」とびらを開けると…
公開授業より

どこに動けばキャッチできるかな?



平成27年11月28日(土)
8時45分～

関西体育授業研究会

場所 大阪教育大学附属池田小学校

米村 耕平 先生

〈香川大学〉

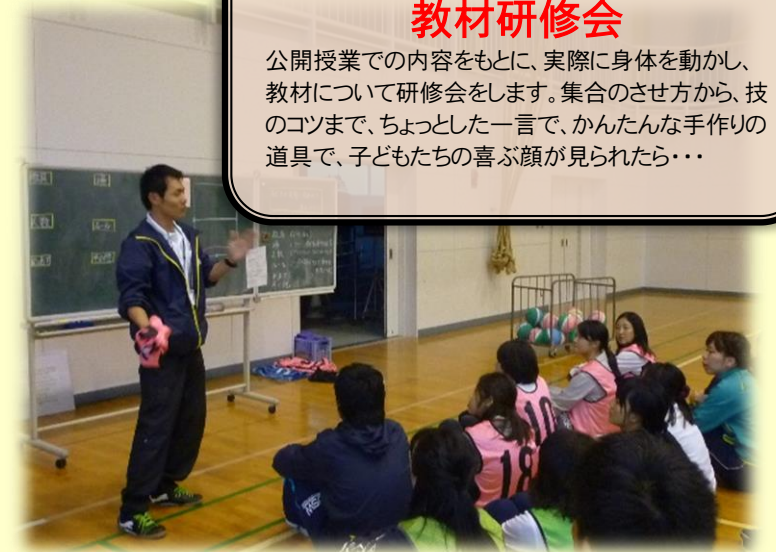
講演テーマ

体育の教材づくりを問い直す

ーゴール型ゲームの教材づくりから見てきたものー

教材研修会

公開授業での内容をもとに、実際に身体を動かし、教材について研修会をします。集合のさせ方から、技のコツまで、ちょっとした一言で、かんたんな手作りの道具で、子どもたちの喜ぶ顔が見られたら・・・



8:20 8:45 9:00 9:45 10:00 10:45 11:00 12:30 13:20 14:10 14:20 15:20 15:40 16:40

受付	開会挨拶	公開授業Ⅰ	公開授業Ⅱ	協議会ⅠⅡ	昼食	講演会	実践発表(6実戦)	教材研修会
----	------	-------	-------	-------	----	-----	-----------	-------

公開授業Ⅰ

マット運動

(5年生「器械運動」)

「つなぐ」に焦点を当てたマット運動の連続技の授業。自分の動きの感じや友だちの動きをヒントに、運動をつなぐ力の育成を目指します。

授業者 池田市立細郷小学校
酒井 宏彰

協議会

《授業Ⅰ》

助言者 三木 四郎先生(神戸親和女子大学)
青木 和男先生(箕面自由学園)

《授業Ⅱ》

助言者 米村 耕平先生(香川大学)

リアルタイム授業解説

授業のポイントの解説を聞きながら、授業参観できます。指導者の意図や子どもの動きをリアルタイムで解説します。(授業Ⅰ・Ⅱともに、希望者のみ)

公開授業Ⅱ

助走の勢いを生かして遠くまで跳ぼう
(3年生「幅跳び」)

「ゲーム的要素を加えた幅跳びの学習を提案します。ゲームへの没頭を通して、動きの工夫を引き出し、結果として「記録」の向上をねらいます。

授業者 堺市立大仙西小学校
川人 慎二

実践発表

「みんなが学べる教材、授業」にこだわった6つの実践を発表します。6教室に分かれ、30分×2でおこないますので、前後半2つの実践をお聞かせください。

	発表者	内容
A	【主運動につながる運動】 福井県越前市吉野小学校 川端宏明 福井県越前市花筐小学校 丸山和洋	体力テスト6回連続1位!学力・体力ともに毎年トップクラスの結果を出している福井県のヒミツを福井県のどこにでもある普通の公立小学校教員が、普段の子どもたちの活動を通して分析してみました。
B	【小学校武道必修化!?!】 大阪教育大学附属池田小学校 金森昭憲	中学校では、武道が必修になっている今、小学校体育で担うべき役割は、何でしょうか?「かけひき」を学習課題の中核に据えた武道教材の授業実践から今後の小学校武道必修化の可能性を探ります。
C	【ボール運動】 高松市立栗林小学校 穴吹哲郎	「ボール運動に恐怖心や苦手意識を抱いている子どもにも、シュートを決める爽快感を」ボール操作を易しくし、メインゲームのレベルも段階を踏みながら高めていきました。そんな易しいゴール型ゲームの授業の実践を紹介します。
D	【初任者指導から考える体育】 八尾市立八尾小学校 梶井大輔	子どもは大好きだけど、教えるとなると難しいのが体育の授業。初任者を指導する中で気づいた、体育の授業の基礎基本を紹介します。
E	【なわとび】 大阪市立焼野小学校 池川佳志	ひとりだけががんばるだけかなわ跳びじゃない。学級づくりにも役立つ、関わり合うなわとび教材「きずなわ」を用いた6年生の授業実践を紹介します。